2026年10月30日

各　位

会 社 名　株式会社TWOSTONE&Sons
代表者名　代表取締役CEO　河端 保志
（コード番号：7352　東証グロース）
問合せ先　取締役CFO　経営戦略本部長　加藤　真
（TEL．03－6416－0057）

TWOSTONE&Sonsグループ、企業のAI利用を全社で一元管理する法人向けサービス「トークンマネジメントバンク」（特許出願中）提供開始のお知らせ

株式会社TWOSTONE&Sons（以下　TWOSTONE&Sons）のグループ会社であり、データとAIを活用して企業の事業変革を支援する株式会社 TWOSTONE　AIvita（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：酒井 克明、以下TWOSTONE AIvita）は、企業のAI利用を適切に管理する法人向けサービス「トークンマネジメントバンク」を2026年11月４日より提供開始します。

本サービスは、AI費用の管理機能と、複数のAIを横断できる生成AIチャットを一つにまとめ、入力内容に応じて最適なAIモデルへ自動で振り分ける「AIトークンマネジメントツール」です。社員はいつものチャット画面から質問するだけで、企業は利用状況・費用・セキュリティを一つの管理画面から統制できます。

なお、本サービスは特許申請中（出願番号2026-223226）のTWOSTONE AIvita独自のものです。

記

１．開発の背景

生成AIの利用が個人単位の試行から、部門・全社の業務へ広がる一方、企業には「誰が、どのAIを、どの程度使っているか分からない」「利用ルールが統一できない」「機密情報を外部AIへ送信するリスクを管理しにくい」といった運用課題が生じています。

アクセンチュアの調査（※１）では、AIモデルの利用単価が下がる一方で利用量が増え、企業のAI支出は今後も拡大すると予測されています。AI の導入後に求められるのは、利用状況・費用・セキュリティを別々に管理するのではなく、一つの仕組みで統制することです。TWOSTONE AIvitaは、これらの課題を解決し、AIの全社展開を推進する「トークンマネジメントバンク」を開発いたしました。

２．トークンマネジメントバンク」の３つの特徴（解決する課題）

社員はいつものチャット画面から質問するだけで、システムが裏側で以下の3つのポイントを自動処理します。

①AI費用を全社一元管理（トークンコスト管理）

・使っていない社員の分も請求される固定費（ユーザー課金）をやめ、会社全体の実利用額（利用課金）で管理する仕組みへと移行します。

・会社全体や社員・部門ごとに月額・日次の利用上限（予算）を設定し、使いすぎを防ぎながら安心してAI活用を広げることが可能です。

・実コストと削減額、利用件数などを一つの管理画面（ダッシュボード）でいつでも把握できます。

②最適モデルへの自動振り分けによる劇的なコスト削減（コスト削減）
・社員の質問内容をシステムが判定し、簡単な定型業務は軽量モデル（低単価）、標準業務は標準モデル、高難度業務は上位モデルへと自動で振り分けます。
・必要以上の高性能モデルへの偏りをなくし、必要な品質を維持したまま、企業全体の平均利用単価を大幅に削減します（TWOSTONE AIvita の試算例では、100 万円のコストが 41 万円以下へと 59%以上削減可能）。

③多層セキュリティによる強固な情報保護（セキュリティ管理）
・氏名や会社名などの機密情報を送信前に自動で検知・匿名化し、外部 AI には匿名化後の情報だけを送ることで情報漏洩を防ぎます（回答後は社内で元の表記へ復元）。
・通信は暗号化され、入力データは AI 学習に利用されません。
・誰が・いつ・何をしたか（招待、削除、ログイン履歴など）を監査ログとして保存し、管理画面から常に追跡できる安全な環境を提供します。

入力内容の難易度・機密度・費用を一件ごとに判定し、業務に合う AI・モデルへ自動で接続します。契約書のレビューや技術仕様の設計などの重い仕事は上位モデルへ、議事録の要約や定型メールの作成などの軽い仕事は軽量モデルへ。AI やモデルにこだわりがある場合は、管理者が許可した範囲で会話ごとに選ぶこともできます。

＜管理者側：管理画面で費用と利用状況を把握＞
実コスト・削減額・削減率・機密該当率・利用件数を一つの管理画面で確認できます。利用者別・部門別の内訳に加え、利用上限、権限、監査ログ、請求用 CSV の出力まで、AI 利用を広げながら管理できます。

＜社員（利用者）側：一つのチャット画面から複数の AI モデルを利用＞

社員は一つのチャット画面から質問やファイルの入力ができ、入力内容に応じて適切な AI モデルへ自動で振り分けられます。社員自身が業務ごとに AI モデルを選択する手間なく、普段どおりのチャット操作で AI を活用できます。

＜そのほかの主な機能＞

機能	内容
会話の移行	ChatGPTなどの会話履歴をボタン一つで移行し、続きから業務を再開
ファイル対応	PDF・Word・Excel・CSV・画像・音声に対応。用途別テンプレートも用意
社内ナレッジ（RAG）	社内規程や業務文書を登録し、根拠（参照元）付きで回答
専任チームの伴走	初期設定から、月次レポート、振り分けルールやRAG改善まで継続支援

※：同じ処理量をすべて上位モデルで処理した場合（100 万円）と業務ごとに最適なモデルに振り分け後（41 万円）を比較した試算値。利用内容・接続モデルにより効果は異なり、削減を保証するものではありません。

３．一般的な法人向け AI チャットとの違い

一般的な法人向け AI チャットでは、社員自身が利用するモデルを選択する場合があります。「トークンマネジメントバンク」は、企業側が設定したルールに基づき、質問内容に応じたモデル選択を入口で自動化することで、利用品質とコストの両立を支援します。

	一般的な法人向けAIチャット	トークンマネジメントバンク
誰がモデルを選ぶか	社員が自分で選ぶ	入力内容から自動で判定 （必要時は選択も可）
機密情報の扱い	匿名化の有無は製品により異なる	送信前に自動で匿名化
費用の見え方	利用人数のみ	利用者別・部門別・削減額まで
何に対して払うか	人数単位のプラン料金	使った分だけ（人数課金なし）

４．料金プラン

導入準備、AI 利用の管理、実際に使った AI 利用料を分けてご請求する、無駄のない料金体系です（表示価格は税別）。

料金区分	金額	課金単位	内容
初期費用	10万円～	導入時	利用開始までの初期設定・導入支援
月額ツール利用料	15万円～	月額	AI費用管理、自動振り分け、セキュリティ管理など
AIチャット利用料	従量課金	月額	実際に利用したAIモデルの利用料

※毎月の請求は、月額ツール利用料＋AI チャット利用料です。RAG 導入等は別途見積です。

導入時は、利用開始までの初期設定をサポートします。導入後も専任チームが利用状況や回答品質を確認し、月次レポートやモデル振り分けルールの改善を通じて、社内での定着と継続的なコスト最適化を支援します。

※１：アクセンチュア「The CIO's Guide to AI Tokenomics」（2026 年９月発表。2026 年７月に日本を含む 17 か国、年間売上高 10 億ドル超企業の経営層 750 名を対象に実施）
（https://www.accenture.com/content/dam/accenture/final/accenture-com/document-fy27/q1/ACN-CIO-Guide-AI-Tokenomics-Report.pdf）より

以　上